

おぢや市議会 だより

NO. 110

令和 5.10.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY

【特集】ふるさと納税推進事業



【特集】ふるさと納税推進事業

一般会計補正予算「ふるさと納税推進事業」可決!!

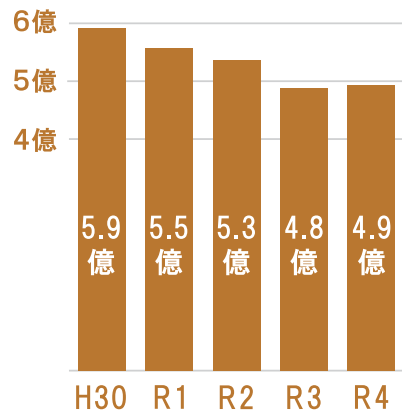
寄附金拡大プロジェクト委託料 1483万6千円

ORPP 広告（検索連動型広告を活用したPR戦略）

○ホームページの更新によるアクセス数アップ

これにより令和5年度目標金額を6億5千万円とし、
令和7年度には10億円という目標を設定。

小千谷市ふるさと納税寄附額



小千谷市ふるさと納税の活用事例のご紹介



【都市基盤分野】

■ 市内巡回バス支援

小千谷総合病院の郊外移転にともなう循環バス運行事業基幹路線からの小千谷総合病院への乗り継ぎや、公共交通空白地帯の解消を目指し、市内循環バスを運行しています。



【福祉・健康・医療分野】

■ 子育て支援センターの備品購入

健康・子どもプラザ「あすえ〜る」のオープンに合わせ、施設の目玉となる人気キャラクターの大型遊具を購入。ちいさなお子さんから大人気！たくさんの方にご利用いただいています。



【産業分野】

■ 商店街千客万来応援事業補助金

商店街振興組合等が行う「食」のテント市、フリーマーケットなどの商店街活性化事業について補助を行いました。

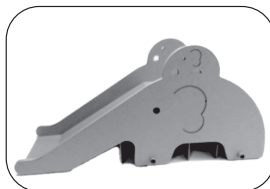
返礼品人気ランキング

上位3位を米やパックご飯が独占!!
柿の種オイル漬けセットや鮭惣菜セットなどご飯に合うおかずもランクイン。

いろいろな返礼品が出品されています!!



小千谷市の人気はお米。
リピート率 No.1!!



ちいさなお子さんにも安心な
段ボール製品の遊具も。



群生地で採れた雪椿油は
「髪や肌に合う」と評判に。



市外にお住まいのご家族、同級生、ご友人に

小千谷市のふるさと納税を

おすすめください!!



第 3 回 定 例 会 議 決 結 果 (8月30日から9月22日まで開催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第69号	小千谷市地域間交流センター条例の一部を改正する条例の制定	全会一致	原案可決
	議案第70号	小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
	議案第71号	小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
予 算	議案第72号	令和5年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)	〃	〃
	議案第73号	令和5年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第74号	令和5年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第75号	令和5年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第76号	令和5年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃	〃
決 算	議案第77号	令和4年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認 定
	議案第78号	令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第79号	令和4年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第80号	令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	賛成多数	〃
	議案第81号	令和4年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第82号	令和4年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認 定
	議案第83号	令和4年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
	議案第84号	令和4年度小千谷市工業用水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
	議案第85号	令和4年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
その他	議案第86号	小千谷市道路線の認定	〃	原案可決
	議案第87号	小千谷市道路線の変更	〃	〃
発 議	発議案第4号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書	賛成多数	〃
	発議案第5号	学校給食費無償化に関する意見書	全会一致	〃
	発議案第6号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	〃	〃
請 願	請願第3号	「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願	みなし	採 択

※ 議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

議 員 賛 否 の 状 況 (採決において賛否が分かれたもの)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	廣井良宣	佐藤勝義	和田忠篤	佐藤瑞穂	高木健太	平澤智	阿部守男	内山博志	上村行雄	住安康一	駒井和彦	森本恵理子	佐藤隆一	久保田陽一	長谷川有理	田中淳
議案第77号	認 定	13	2	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	×	○	○	○
議案第80号	認 定	14	1	○	○	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
発議案第4号	原案可決	13	2	×	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○

※ ○は賛成、×は反対、議長(上村行雄)は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 平澤 智

総務文教委員会に付託されました議案第71号、議案第72号、議案第77号及び請願第3号の以上4件につきまして、慎重に審査いたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第71号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例について

・該当設備の状況と今後の増設情報等について。など質疑があり意見、討論はなく可決すべきものと決しました。

○議案第72号 令和5年度小千谷市一般会計補正予算第3号について

意見として

・物価高騰の対策として、農家の方を元気づけるような施策を打ち出していたいただきたい。というものがあり、討論はなく採決の結果全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第77号 令和4年度一般会計決算認定について

主たる意見として

・FM新潟おぢやブラボの会場が寂しい状況になっている。仕掛け作りを検討していただきたい。

・額縁購入費写真を絵画にする件再検討していただきたい。

・テクノ名匠塾の継続に講師の確保をしっかりとしてほしい。

・原油価格高騰緊急対策支援補助金の事業評価をしっかりと検証してほしい。

・道路の白線修繕管理計画を推進してほしい。

・流雪溝の投入口の軽い蓋の検討を計画的にしてほしい。

・就労支援は結果まで確認してほしい。

・小千谷奨学会補助金の給付型を検討してほしい。

・不登校、児童虐待対策を検討してほしい。

討論として

・一般会計10億円の繰越金があり積極的活用が弱く反対。

採決の結果起立多数で認定すべきものと決しました。

○請願第3号 私立高校学費負担軽減、私学助成増額・拡充を求める意見書について

討論として

・私学高校生の負担軽減・教員増が必要と考え、賛成。というものがあり採決の結果賛成多数で採決すべきものと決しました。

民生産業委員会

委員長 阿部 守男

本委員会に付託されました議案16件について、慎重に審議した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第69号 小千谷市地域間交流センター条例の一部を改正する条例の制定について

質疑として

利用料金の算定、決定方法について

○議案第70号 小千谷市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

質疑なし

○議案第76号 令和5年度小千谷市下水道事業会計補正予算（第1号）について

質疑として

下水道事業経営戦略改定と内水対策について

○議案第78号 令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

質疑として

歳入予算額と調定額の差異、収納未済理由について

○議案第79号 令和4年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

認定について

質疑として

事業所の減少について

○議案第80号 令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

質疑として

人間ドック委託料、検診費用助成金の実績と予算の乖離について

○議案第81号、議案第82号、議案第83号について

質疑なし

○議案第84号 令和4年度小千谷市工業用下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

質疑として

有水水量の増加と料金収入について

○議案第85号 令和4年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

質疑として

人口の変化に伴う農業集落排水処理施設への影響について

○議案第86号 小千谷市道路路線の認定について

質疑として

照明の必要性と除雪体制について

○議案第87号 小千谷市道路路線の変更について

質疑として

除雪種別の変更予定について

高木 健太 議員



小千谷市のふるさと納税の現状と今後について

質問 小千谷市のふるさと納税がマイナスに転じている原因は。

答弁 原因は次の3点にある。①情報発信不足や差別化が図れていない。②ポータルサイトへのアクセス数減少とサイトの離脱割合が多い。③返礼品の総数や種類など品揃えが不足。

質問 本年度の目標6億5千万円の達成計画と市長が掲げる「ふるさと納税10億円」達成の計画は。

答弁 補正予算を活用し、①ポータルサイトの改修や写真の更新、②広告と連動した検索対策、③魅力的な返礼品の登録数増加に取り組み、本年度の目標を達成する。今後の寄附額10億円の目標は令和7年度に達成を目指す。

質問 寄附金充当事業は市民ニーズや意見が反映されているのか。

答弁 6つの基本目標への寄附に

については、後期基本計画策定時に市民意向調査や総合計画審議会での議論を通じ、主要事業を定めているため、一定程度応えている。今後、さらなる寄附を促す工夫の余地はあると考えている。

小千谷市職員の勤怠管理に関する現状と今後について

質問 勤怠状況を管理職がどのように把握し、問題発見の方法は。

答弁 時間外勤務命令カード、休暇カードで把握。問題発見は、業務進捗状況や勤務態度の観察などで早期の把握に努めている。

質問 働き方改革に関するヒアリングや調査を実施しているか。

答弁 働き方改革を主題としたヒアリングやアンケート調査は行っていない。

質問 勤怠管理のデジタル化の予定は。

答弁 本年度5月に業者とシステム契約を締結。今年度中に施行を開始したい。

質問 働き方改革に対する目標設定や数値評価は。

答弁 今後、職員の意見を把握する方法および目標、数値化、評価を検討していく。

内山 博志 議員



市の非正規職員の待遇改善等について

質問 学校や保育園に非正規職員の割合が多いがその影響は。正規職員の割合を増やす考えはないか。非正規職員の待遇改善に「勤勉手当」を活かすべきではないか。

答弁 特別支援を必要とする児童、生徒のアシスタント等の配置、保育園では、未満児保育や延長保育等ニーズに因應するため非正規職員が多いが影響は少ないと考えている。職員がやりがいを感じ、働きやすい職場環境に努める。正規職員の割合を向上させる考えはない。非正規職員への「勤勉手当」の支給は、前向きに検討する。

ガス事業の民間譲渡について

質問 ガス事業財産の最低譲渡価格の設定等について。地元管工事業者や職員の雇用継続について。ガスの早期耐震化率90%の保証について。ガス事業の民間譲渡後、

公営の3事業、水道、下水、工業用水道事業に負の影響が出ることは市も認めている。その対策について伺う。

答弁 最低譲渡価格は「時価純資産額法」をもとに考慮し20億円以上と設定した。市と防災協定を締結し、緊急当番などで協力関係にある小千谷市管工事協同組合に対する特別な配慮を先行事例より踏み込んで特別な配慮を強く求めている。市ガス公認工事店の事業継続、さらに、市独自の視点を加えた地元管工事業者の活用項目を加えた地元事業者配慮を重要視していることを譲渡希望事業者に伝えている。

ガス管の耐震化目標は短期間に耐震化を強いることは適切ではないと考えているので譲渡後も当市の維持管理や更新計画を下回らないことを基本条件にした。ガス事業の民間譲渡で残された水道など3事業のコスト増高が想定される。特に水道事業への影響が大きいと見込んでいる。対策については、市政全般に関わる課題として影響を最小限にするよう検討している。

市政の内容を聞く

一般

質問

佐藤 勝義 議員



小千谷市地域間交流センターちぢみの里に関する今後の運営について

質問 指定管理者において、様々なサービス向上に努めている最中、市としても協力し情報発信することとは有効と考える。見解を伺う。

答弁 お客様から繰り返し施設をご利用していただくために情報発信は欠かせないことから、指定管理者の努力のみに委ねることなく、市としても連携して取り組む。

質問 市民ニーズの送迎サービスに関して、月額契約で業者に送迎委託をするなどしてはどうか。

答弁 指定管理者としても、送迎サービスを検討する方針であると承知している。送迎サービス再開に際しては指定管理者との連携によるPRなど、市としても利用促進に努めていく。

質問 設備等の修繕費の取り扱いについて、50万円以上を市負担とする取り決めに撤廃する検討をするべき。見解を伺う。

答弁 修繕費に関しては覚書により指定管理者と合意している。直ちにその枠組みを撤廃することは困難ではあるが、迅速な修繕方法や市の事務手続き上の問題などは協議のうえ対応を検討したい。

質問 デリバリー温泉・温泉販売に関して、新たな顧客サービスとして検討が必要。見解を伺う。

答弁 市民ニーズや現状課題を整理したうえで、指定管理者と協議したいと考えている。

質問 利用料金に関する条例改正に伴う誘客キャンペーン等の計画と今後の展開を伺う。

答弁 ちぢみの里では利用料金の改定に係る条例改正後、誘客促進企画を検討していることから、市としても協力していく。

質問 市と指定管理者が更に連携し、運営を強化して行くことが望ましいと考えているが、今後の展開を伺う。

答弁 指定管理者のノウハウを活かした運営に期待するとともに、市としても一層の連携強化により利用促進と満足度向上に取り組みむ。

森本 恵理子 議員



給食費無償化と子育て施策のありかたについて

質問 給食費の無償化は本来、国が率先して行うものであると考えますが、給食費無償化が子育て世

代を取り込むトレンドになりつつある動きを鑑みると、当市においても国が動くまでの時限措置として何らかの方策を講ずる必要があると思えてきてなりません。しかし年間約1億7千万円の予算が必要なことから財源確保も同時に考える必要を強く感じています。ふるさと納税やクラウドファンディングなどの利用に対する見解は。

答弁 検討の余地があり、他市の成功事例を研究していきます。

質問 学校だけでなく、保育園・認定こども園の給食費無償化、多子世帯に対する給食費補助、給食の質の向上等、取り組むべき子育て施策はたくさんありますが、継続的に多額の費用がかかります。

答弁 現在の支援策に加え、更に拡充していく必要があると考えており、ご提案いただいた施策も参考にしていきたいです。

子育てに関する支援、環境整備をどこまで行っていくのか見解を伺います。

答弁 現在の支援策に加え、更に拡充していく必要があると考えており、ご提案いただいた施策も参考にしていきたいです。

質問 一方的な企業情報の提供だけでは就労に結びつきにくい現状にあります。一人一人のニーズをとらえた自治体による学生や高齢者等と企業のマッチング支援に踏み込まないと人材不足は補えないと考えますが見解を伺います。

答弁 効果的な情報提供のありかたを研究してまいります。マッチング支援については費用対効果も含め研究してまいります。

質問 奨学金制度を利用した方が小千谷在住になることで自治体が半額を返済、更に市内企業に勤務することで企業が半額を返済する等小千谷奨学会や企業と連携した人口増加につながる施策の導入が必要ではと考えますが見解は。

答弁 今後、研究してまいります。

答弁 今後、研究してまいります。

廣井 良宣 議員



健康診査勧奨と健康保険 インセンティブについて

質問 特定健康診査の実施状況とより多くの市民に受診してもらうための当市としての具体的な方策は。

答弁 特定健康診査の実施率が県内20市、また全国の市・区の中でも高い数値を維持する一方、特定保健指導の実施率は目標値を下回った。令和6年度からの策定では実施率を高めるための方策を検討し、検査機関や医療機関と連携し取組みを進めていく。

質問 医療機関を受診しない方たちに対するインセンティブが健康な市民を増加させる一助になるのではないか。

答弁 保険加入者がより健康を意識し、健康増進に繋がる取組を行う動機付けとしての効果はあると考える。一方で医療機関を定期的に受診しなければならぬ方もいる。また、体調に異変を感じても

インセンティブを気にして受診を控えることが懸念される。現時点で実施の予定はないが、引き続き市民の健康増進のため各種健康づくり事業に取り組む。

東栄元中子線のあり方について

質問 冬季における同線は機械除雪体制である。降雪時は車両や歩行者の安全が十分に確保されるべきであり、道路両側の歩道の除雪も重要なのではないか。

答弁 市内の歩道除雪については、道路管理者や町内会代表者などで組織する「小千谷市雪みち計画推進協議会」で毎年計画を策定している。これに基づいて東側は全線、西側は元中子公会堂が新築されたことにより一部区間で除雪を実施している。今後、住宅等が増え利用状況が変わった場合は地元町内会と協議し計画に反映したい。

質問 防犯や通行上安全な歩道の確保という点で街灯の設置増が必要ではないか。

答弁 国土交通省が定める基準に基づき設置しており、安全が確保できる現状であると考える。利用状況等が変わった場合は地元町内会の意見を聞きたい。

佐藤 隆一 議員



再エネ、省エネでCO2実排出ゼロへ

質問 リサイクル率が低下しています。プラスチック容器包装の減量化に向けた拠出金制度が始まっており、リサイクルは市民、事業者、自治体にとってメリットがあります。考えをお聞かせします。

答弁 令和4年度の比較で、0.6%低下しました。ゴミの量は1141g（一人一日分）と2.7%増加しています。リサイクルは処理経費の削減や環境保全からメリットがあると考えます。

質問 最終処分場を長く使うにはゴミの分別によるリサイクルの推進が大切ではないですか。

答弁 最終処分場の延命化のためには分別を徹底し、ゴミの減量化を進める取り組みが必要です。

質問 CO2排出調査結果と焼却施設基本構想についてお聞かせします。

答弁 排出量は30万9100tで、19.4%（平成25年度比）減

少ししました。焼却施設については、現段階の答弁は困難です。

質問 問題意識を伺います。

答弁 CO2実排出ゼロの取り組みは重要であり、今後の具体的検討で目的に向かって計画を進めます。

質問 防犯灯のLED化の現状についてお聞かせします。

答弁 令和4年までに3492基が切り替えられており、約77%です。毎年200基ほどがLED化され、5年後には完了すると思います。

質問 切り替えメリットは電氣量が半減する程大きく、千谷川町内会の先進的な取り組みもありますが。

答弁 LEDは器具の長持ちと電氣使用量を半減する省エネ効果に優れており、町内会や市民の負担軽減につながるから、大切な役割を果たしていると考えています。

質問 環境うるおい基金は、信濃川の河川環境の維持向上と環境との調和を図ることを目的に設置されました。令和4年の取り崩しの際と内容についてお聞かせします。

答弁 令和4年度については、対象事業の決算額を把握し、出納期間中の5月末に繰り入れました。

市政の内容を聞く

一般質問

和田 忠篤 議員



将来のUターンにつながる市内中学校と高校との連携と対策について

質問 市内出身の中学生、高校生が将来、市内へのUターンを考えた場合、市内にある2つの高校(市内出身の中学生の割合は小千谷高校が約33%、小千谷西高校が約54%)において、特に市内出身の中学生の割合の低い小千谷高校において、進学率を高めていく必要性の有無について伺う。

答弁 自分たちの住むまちで学び、夢を実現したいと思ってもらえるような、まちそのものの魅力向上が必要であると考えている。そのためにも中学生の皆さんから、小千谷高校や小千谷西高校に進学したいと思ってもらえるよう、魅力あふれるまちづくりに取り組む。

質問 中学校と高校との一層の連携の必要性について伺う。

教育長答弁 特に中高の連携にお

いて、情報連携を重要視し、生徒が進学した後も、随時情報交換や相談を行っている。更に市内中高の教頭先生方が私設の会を立ち上げ、中高双方の学校訪問や情報交換を行っている。

質問 「小千谷駅前ないしは駅内に、机と椅子のある学習スペースの確保を」について伺う。

答弁 小千谷駅周辺での学習スペースの確保は、市内高校に通う学生の居場所づくりや当市への愛着醸成のために大変重要なことと捉えており、現在、重点政策プロジェクトチームの「中心市街地活性化チーム」において検討を進めている。まずは駅舎内の待合室内のスペースに机と椅子等を設置することについて管理者であるJR東日本と相談を始めている。また駅周辺にも学生が気軽に立ち寄れる学習スペースを確保することについて、近隣商店街との相談を始めた。学習スペースの確保は、高校生の放課後の居場所としてだけでなく、小千谷の文化や産業を知ること、将来のU・Iターンにつながる、極めて重要な場所になりうるかと考えている。

駒井 和彦 議員



昨今の猛暑への対応について

質問 消雪パイプの打ち水の試行と、電気料等の補助について。

答弁 ある程度の効果はあると考えるが、どの程度体感温度を下げられるか、その効果が定かでない。夏の活用に多額の財源を投入する事は、費用対効果の面からも難しい。現在の安価な電力契約を維持出来ず、消雪パイプ組合等の地元負担が増える。現在、組合等から利用の申し出は無い。

質問 公共施設等へのミスト装置の設置について。

答弁 (仮称) 防災センターについては、今後の実施設計の中で検討したいが、図書館等複合施設を含め、その他の公共施設については考えていない。市有施設の消雪パイプの散水については、社会実験として行う事も検討したい。

質問 熱中症防止のための、デジタル表示の室温計の設置につい

て。

答弁 一案とは考えるが、広報に注力していきたい。

質問 山火事が常態化することへの認識及び当市の山火事発生時の対応の現状と今後の取り組みについて。

答弁 山火事常態化への備えを進める必要がある。市街地から離れた必要が、装備、戦術面で特別な対応が必要で、高圧噴霧消火装置、ミキサー車により消防用水を搬送する災害応援協定を、魚沼地区生コンクリート協同組合と締結、今後は常時の気象状況のモニタリングに努め、広報活動に重点を置く。

第5次定員適正化計画について

質問 第5次定員適正化計画が目指す方向性について。

答弁 社会情勢の変化や多様化する住民ニーズへの対応がこれまで以上に求められている事を踏まえ、効率的・実践的職員配置を行う事を計画策定の主旨とする。職員を削減する為の計画ではなく、市民ニーズに対応し、行政サービス低下を招かない様、持続性のある市政運営を実現する為の計画である。

長谷川 有理 議員



若者世帯、子育て世帯の住宅支援

質問 新築・改築支援だけでなく、県内7市で導入済みの新婚世帯・若者夫婦・子育て世帯向け家賃補助制度の導入で当市の若者支援を。

答弁 重点政策プロジェクトチームで家賃補助制度を検討中。賃貸住宅に住む方の支援も課題と認識。

当市の市民協働の推進について

質問 地域活性化に行政とは別の市民協働推進を担う相談役となる団体の存在が大切だが当市は不在。地域支援団体こしゃるの現状や今後の団体育成への戦略はあるのか。

答弁 こしゃるは令和2年度末に活動休止中。市民協働についてはにぎわい交流課を中心として関係課で各々取り組んでいる。団体設立や育成を今後、検討したい。

岩沢田代産廃処理施設について

質問 24時間稼働について地元説明会が何故岩沢町内から更に縮小

した岩山集落等に限られたのか。

答弁 確かに限られているが参集範囲を決めたうえで行われたプロセスは尊重したい。説明会で必要な説明はなされたものと認識。

質問 県への事業者の計画資料によると24時間稼働で1日最大154台搬入車が通ると明記されているが、説明会で言及はなかった。生活環境影響調査書にも施設周辺では河川からの農業用水の取水はないと明記されているが実際は取水があり、施設の排水口が農業用水の取り込み口のすぐ上流に設置など、様々な齟齬があり説明が不十分。岩沢全体はもとより市内南部地域全体や簡易水道もある十日町市の隣接集落への説明会を求めるべき。

答弁 地域から申し出がある場合は県と協力しながら働きかけたい。障がい者就労支援・経済基盤強化

質問 令和4年度当市の障がい者就労施設からの物品調達実績が目標の290万円に届かない233万円だった。原因と課題克服を。

答弁 イベントでの物品調達が多く、コロナ禍の影響が大きかった。平成30年度以降目標を達成出来ていないことから要因を検討したい。

佐藤 瑞穂 議員



職員採用の日程設定について

質問 人口規模が大きい近隣自治体と同一の試験日設定は優秀な人材獲得競争において有利か不利か。

答弁 今年度、一般事務の上級試験日は長岡市と同日とした。受験者数は減るが、当市への就職を希望する優秀な人材を確実に確保できる可能性が高まると考える。

メリット・デメリットがあるため、今年度の結果を検証し、来年度の試験日程を検討したい。

質問 社会人経験枠について、通年採用など民間のリズムに歩調を合わせた戦略は検討しているか。

答弁 社会人経験枠への応募者は当市に愛着を持ち、覚悟を持って転職を決意される方が多い。社会人の転職理由やタイミングは多様であり、職種ごとの採用予定者の確保状況によつては、統一試験日以外に試験を行うことや通年募集なども検討する必要がある。

外国語や情報処理など新たな専門的人材の確保について

質問 より効果的に当市の情報を運用できる人材確保の必要性は。

答弁 最新の情報を把握し、市政に反映させていくためには、専門的なスキルを備えた専門職員を採用することも検討する余地がある。しかし、ゼネラリストとしての人材育成を主眼としており、現時点では専門職員の採用は考えていない。代わる対応として、外部人材の活用を継続的に実施している。

シテイプロモーションを兼ねた職員採用について

質問 学校訪問とインターンシップの実施状況と今後の展望は。

答弁 コロナ禍の昨年度は3校、今年度は6校を予定。インターンシップは昨年度が4人、今年度は9月15日までに5人を受け入れ。今後の展望は、学校訪問の機会を増やすとともに、伝えたい情報が学生に確実に伝わるよう実施方法の改善を検討したい。なお、インターンシップは可能な限り受け入れることを基本方針としており、学生と接し就職活動の実態を知られる貴重な機会に位置付けている。

市政の内容を聞く

一般

質問

久保田 陽一 議員



厚生連小千谷総合病院について

質問 小千谷市は国や県へどのような働きかけを行っているのか。

答弁 厚生連病院が地域医療の中心となつている県内6市で構成する「地域医療連携推進協議会」での活動や、県市長会の活動を通じて国や県に対し、厚生連病院の経営安定を図るための要望を行ってきた。内容はコロナ禍における医療提供体制構築のための財政支援のほか、自治体が実施している公的病院に対する助成に係る地方財政措置の更なる拡充、並びに病院の安定的な運営・経営のための医師・看護師・助産師などの医療人材の確保強化。

質問 今後も現在の医療体制を維持しながら分娩を行えるのか。

答弁 小千谷総合病院からは、来年度は今年度と同様に分娩機能を維持できる見込みであると伺っているが、その先は決して楽観視で

きる状況ではなく、むしろ極めて厳しい状況にあると認識している。今後の分娩体制を維持していくためには第一に小千谷総合病院での出生数が維持されることが重要。さらに働き方改革を踏まえた勤務体制を維持するために産婦人科医師、助産師及び看護師の確保が重要。これらの状況を踏まえ、

今後の「新潟県周産期医療のあり方に関する協議会」の議論を注視するとともに、小千谷総合病院との情報共有を緊密に行い、あらゆる手段について検討していく。

自転車ヘルメット購入時補助について

質問 道路交通法の改正により、ヘルメットの着用が全年齢で努力義務となった。新潟県は全国一ヘルメットの着用率が低いなか、自転車用ヘルメット購入時の補助が必要では。

答弁 努力義務においては罰則の適用がないことからヘルメットを着用せずに運転している方を見かけることが少なくない。このような状況で補助金制度を創設しても購入する動機づけとして効果を見出すことは難しいと考える。

住安 康一 議員



災害時のトイレについて

質問 避難所のトイレの確保や体制について。

答弁 基幹避難所において、簡易トイレを備蓄。マンホールトイレは市内4か所に45基を設置し、図書館等複合施設にも設置する予定。不足するトイレは、災害時相互応援協定締結市町村や県からの緊急供給や、民間企業との防災協定締結によりトイレのレンタルをする。

大規模災害時の電源確保について

質問 重要な施設である災害対策本部となる本庁舎、代替施設の総合体育館、消防署などに関しては、72時間容易に電源を確保できる体制であるべき。

答弁 重要施設において、いずれも72時間の稼働を確保できる設備ではない。各施設の非常用電源設備の能力増強には、財政面で大きな投資を伴うため、早急な対応は困難であり、現実的には別の手段

で電源を確保する必要がある。電力会社からの電源車の手配についての協力や燃料優先供給のための石油商業組合小千谷支部との協定の締結を進める。太陽光パネルの設置など、再生可能エネルギーの活用も研究する。

空家対策について

質問 当市には「小千谷市空家等対策計画」があるにもかかわらず、いつまで経っても解決されない倒壊の恐れのある建物や衛生上有害となつている場所、著しく景観を損なっている状態のところなどが多く存在する。市民の安全安心な生活を確保していくために、どのように対処していくのか。

答弁 空家が破損したり倒壊した場合、周辺の家屋などに影響が及ぶ恐れがないと認められる状況であれば、たとえ外見上危険であったとしても、必ずしも特定空家に認定するものではない。法律の一部改正があり、現在当市でリストアップしている23件について、管理不全空家等に指定することにより指導や勧告を行うことができるようになることから、法の趣旨に則り、適切に対応する。

平澤 智議員



自治体DXについて

質問 行かない市役所、書かない窓口について。

答弁 最適なシステムの機能の精査、業務効率化の具体的手法などの検討を行っている段階。規定に則り順次オンライン化を進める。

質問 キャッシュレス決済の実施について。

答弁 7月からキャッシュレス決済が可能となった。2か月間での利用実績は125件であった。認知度を上げる為の周知に取り組む。

質問 マイナポータルの内容について。

答弁 マイナポータルの動向を注視しながら周知方法を検討したい。

質問 行政サービス「チャットボット」の導入等について。

答弁 パソコン等による自動応答サービスは想定問答の設定や改善が必要。利用体験や自治体の事例を研究中であり具体的な検討を今

後進める予定。

質問 公衆Wi-Fiの統一化に向けての課題について。

答弁 小千谷駅前や本町商店街等に公衆Wi-Fiを整備する際に公共機関での既設置済みWi-Fiとの互換性を検討したが規格等の問題で断念せざるを得なかった。現時点での統一規格はコスト面から考えていない。

質問 観光DXについて。

答弁 当市ホームページにおける観光情報をはじめとする検索エンジンの最適化は基本的な対策は実施済み。観光分野のDX推進は観光戦略の再検討や新たなビジネスモデルの創出、地域そのものを豊かにするために重要であると考えている。技術的な対策と情報発信方法の改善に取り組む。

質問 自治体DX推進の全般について。

答弁 デジタル戦略室は担当職員3名と民間企業3名で運営しており今後デジタル技術の専門知識を持つ職員の育成を図るとともに民間企業との連携なども模索しながら自治体DXの推進体制を確保してゆく。

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。(令和5年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか

第4回定例会開催予定

- 12月4日(月) 第1日 議案上程説明
- 12月5日(火)~7日(木) 各常任委員会審査
- 12月20日(水) 第2日 一般質問
- 12月21日(木) 予備日 一般質問
- (質問者が多い場合に開催)
- 12月25日(月) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用

iPhone用





(写真：昨年度の小千谷みらい議会当時の様子)

今年も小千谷みらい議会が開催されます!!

小千谷みらい議会とは？

未来の小千谷市を担う中学生から、小千谷のまちづくりへの参画意識を持ってもらうことを目的に開催しています。

これまでの経過と今後のスケジュール

- ・市内中学校で議員が出前授業を行いました。
- ・中学三年生が議会傍聴に訪れました。
- ・11月9日(木)：小千谷みらい議会の開催!!



出前授業の様子



議会傍聴の様子



編集後記

地球沸騰化ともいわれる異常な暑さが続く中、9月議会が行われました。この議会は決算議会ともいわれ小千谷市の令和4年度の一般会計から国保、介護など特別会計、ガス、水道など企業会計決算を中心に令和5年度の補正予算、条例改正などの審議が行われました。

「おぢや市議会だより」は9月議会に対する各議員の対応、一般質問などが掲載されています。

市議会として、市民の皆様からどうしたら議会のこと、市政のことに関心を持ち参加していただけるか、議会だよりを編集する中で話し合いました。今回表紙のイメージを変えてみました。今後、「小千谷みらい議会」、「議会報告会及び意見交換会」などの企画もあります。皆様からのご意見、ご感想を参考に、より議会、市政に関心を持っていただけるように努めてまいります。

どうぞ宜しくお願い致します。

編集委員 内山 博志